

また、ステージ前広場ではバザーや地元産品市場が開かれ、訪れた大勢の方が特産品や食事を楽しまれるなど、会場は桜と笑顔で溢れていました。

さらに今年にはDocument 72 hours「瀬戸内海桜の島で」NHKにも取り上げられ、島民の桜に対する想いが見事に描かれていました。ご案内のように、テレビの影響力は大きく、今後は更に全国区の観光地になりますので、受け入れ態勢の準備をよろしくお願いします。

4月6日には愛媛県庁や関係機関を、12日には四国高松の整備局や運輸局、財務局などへ、19日からは東京において各省庁や国会議員への新年度の挨拶回りを実施し、情報収集と要望活動を行いました。

また、新たな試みとして、4月8日に広島マツダスタジアムでのカープ対巨人公式戦において観光PRと物産販売を行いました。上島町の窓口にはお客様が途切れる事なく、想像以上の売り上げと宣伝につながり、広島カープ営業部担当者の方から高い評価をいただきました。このイベントには継続して参加したいと考えています。

5月12日には、ねんりんピック愛媛のえひめ2023上島町実行委員会総会を開催しました。ねんりんピック

隊（松山駐屯地 中部方面特科隊 隊員10名、ジープ3台、トラック1台）による炊き出し訓練が下弓削地区で実施されました。

さらに、想定外の災害発生に対応できるようブラインド訓練も継続実施し、関係職員の臨機応変な対応育成を試みています。上島町としても、防災訓練を契機とし、町民の皆さまの防災意識の向上を図るとともに、国や県など関係機関との日々の相互連携をさらに深め、災害に備えてまいります。

5月29日に沖縄県那覇市において、令和5年度全国離島振興協議会通常総会が開催されました。古川康国土交通大臣政務官や山本博公明党離島振興対策本部長、玉城デニー沖縄県知事をはじめとする数多くの来賓に出席をしていただき、離島振興法改正の重要性や離島における共通認識を再確認いたしました。

総会においては、「国の離島振興基本方針に基づく事項の完全実施」をはじめとする「令和5年度全国離島振興協議会通常総会決議」26項目の読み上げをし、満場一致で可決されました。

この他に決議された、「離島航路・航空路支援の抜本拡充に関する特別決議」とともに、今後、関係省庁に要望してまいります。

というのは、高齢者の皆さまが、人生100年時代といわれる長寿社会をいきいきと「愛顔（えがお）」で暮らしていけるよう、健康や生きがいを実感でき、全国から参加される高齢者の皆さんと地元住民との交流や、さまざまな世代間のふれあいを通して、地域共生社会の実現を目指すことを目的に開催されるものです。

上島町では、10月29日に「上島町ウォークラリー交流大会」の開催が決まっています。今回の実行委員会は、各種団体の協力のもと、大会意識の高揚と成功を期するために設立したもので、委員として、議会や老人クラブなどの代表者に集まっていたいで、大会を円滑に運営していくための会則等の確認を行いました。

大会には全国から大勢の参加者が集まります。上島町民の皆さまの「おもてなしの心」を発揮していただくよい機会ですので、ご協力よろしくお願いいたします。

5月13日には、令和5年度愛媛県植樹祭が愛媛の森林基金と上島町の共催により開催されました。この植樹祭は森林の公益的機能と緑化思想の普及啓発を図るため、愛媛県内市町の持ち回りで毎年開催され、町外からも約200人の出席がありました。式典では、緑の少年団により「自然の大切さを知り、緑を守り育てま

また、今回は任期満了にともなう役員の選任等の議決が行われ、私は副会長として再任されましたので、新たに会長となられた野口長崎県五島市長とともに、上島町のみならず、全国の離島の先頭に立つて離島の課題を解決できるよう取り組んで参ります。

以上の報告の他にも、新年度ゆえの来町者が多くあり、今後の方向性について協議を重ねました。

続いて、第三セクターの令和4年度の運営状況ですが、株式会社いわぎ物産センターは、営業部門において昨今の物価高騰のあおりを受け苦戦しましたが、製造部門や売店部門、喫茶部門で昨年度の売り上げを大幅に上回っています。

全体では、売上高1億4968万円であり、対前年比108%、金額にして1100万円ほどの売上げ増、経常利益が約740万円となり、健全な経営に努めています。

次に株式会社いきなスポレクについてですが、平成30年度には、約7440万円の赤字、スポレク単体においても1070万円の赤字、それ以降も赤字経営を記録していましたが、令和4年度は新型コロナウイルスの影響がある中、営業損益として約400万円の黒字に転換することができました。

このように、堅実な経営と職員の

す」という力強い宣誓があり、引き続き行われた記念植樹では、緑の少年団代表と主催者、来賓などによって、岩城幸峠（さいのとうげ）で桜の苗木の植樹を行いました。2023年度の県緑化キャンペーンテーマ「愛媛から未来へ緑をつないでく」のよう、上島町の未来のために、皆さんも、緑化の大切さを学び、緑を守っていくようご協力をお願いいたします。

5月22日から23日にかけて、上島町の重要施策について国に要望活動を行いました。これは例年7月に実施していましたが、6月の骨太の方針策定に間に合うように期日を変更したものです。

その内容は

- ①人口減少対策への支援について
- ②移住・定住促進及び関係人口創出への支援について
- ③水産業振興への支援について
- ④離島留学制度への支援について
- ⑤地域拠点施設（道の駅等）の整備について
- ⑥歴史文化遺産の調査と保存・活用について
- ⑦離島のDX推進等への支援について
- ⑧離島補助航路の指定緩和について
- ⑨離島医療の充実について
- ⑩離島における燃油類の格差是正について
- ⑪島内道路における道路構造物整備

努力により、スポレクの決算はよい方向に持ち直してまいりました。

しかし、旧経営陣による令和2年度の上島町からの借入れが2600万円、現在でも令和31年度までの返済金約2420万円が残っており、今後の経営の足枷になっていることは言うまでもありません。

ご案内のように施設管理においては、現在、原油価格や物価高騰のあおりを受け厳しい環境に置かれています。このような状況から、運営資金である指定管理料については、第三セクターだけではなく全ての施設において、見直す必要があると考えています。

さて、今回上程している一般会計補正予算についてですが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業を中心に計上しています。

主な内容は、物価高騰の影響が大きい低所得世帯への負担を軽減するための支援として「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業」であり、1世帯あたり3万円を給付する施策です。

また、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている町民の皆さまに1人当たり5千円分の商品券を配布する予算です。

その他、事業者支援としても、「飼

について

⑫ゆめしま海道周遊観光の推進における道路施設整備について

⑬「島」と「海」を結ぶ賑わい空間施設の整備について

であり、これらの要望は上島町の現在と未来の課題をしっかりと網羅しており、議長と連名で提出させていただきました。

今後は実施に向けて、さらなる要望活動が続けてまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

5月28日には上島町総合防災訓練を実施し、多くの町民の方々にご参加、ご協力をいただき無事に訓練の目的を達成しました。

今回の訓練では、新たに、自治体向けコミュニケーションツールである「LOGOチャット」を職員間、災対本部との連絡網として活用し、通信訓練を行いました。避難状況や、職員の活動状況をリアルタイムで確認でき、災害時に有効なツールとして活用できると感じています。また、昨年に引き続き「Zoom」を活用した中継訓練を今年度は新たに松山港湾・空港整備事務所、東予地方局、今治支局とも実施し、リエゾン派遣依頼や応援要請等の訓練を行うなど関係機関との連携を高めました。

また、昨年に引き続き、陸上自衛

料価格高騰対策事業」、「福祉施設および医療施設物価高騰対策緊急支援事業」を計上しており、物価高騰の影響に対し効果的に対応したいと考えています。

結びに、いよいよ5月から生名橋車道等拡張工事がスタートしました。2011年に15車線で生名島と佐島をつないでいただき、生活の利便性は飛躍的に伸びましたが、大型車が離合できないなどの不便性と危険性が含まれていました。2022年、新たに3本目の岩城橋が完成し、そのわずか1年ほどで生名橋を2車線（片側1車線）とする工事が始まることは、上島町民にとって大変ありがたく、愛媛県の地方へのご高配に心から感謝しています。

上島町はこれに応えるべく、町民一人となつて上島町の発展に更なる力を注ぎ、観光客を含めた交流人口の増加に努め、我がふるさとの魅力を全国に伝えなければならないと考えています。

上島町長 上村俊之

